

高知県がんポータルサイトへの がん治療実績等の掲載について

がん治療実績等の掲載について

現状と効果

- **国の調査**（がん情報サービス利用者向けアンケート等）によると、がん患者及びその家族等はがん治療病院選択にあたって、「**がんの治療件数**」「**がんの治療成績**」等の情報を求めている。
- **国は**、今後公表の了承が得られた拠点病院等を対象に、治療件数等の情報を一覧化するウェブサイトを作成する対応を示している。
- **国からの「2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に関するとりまとめ」**には、「院内がん登録を実施している医療機関を対象として、**都道府県内の医療機関ごとの診療実績を、院内がん登録等の情報を用いて、医療機関の同意のもと一元的に発信すること。**」が求められている。
- **県においても、県民が適切な診断や治療にスムーズにアクセスできる体制の確保が必要**



がんポータルサイトへ医療機関毎の治療実績等を掲載し、
がんと診断された方が安心して治療を受けられる環境を整備する

検索機能

○ トップページ検索機能で医療機関毎のがん治療実績等を検索

検索画面（イメージ）

がん治療を受けられる医療機関

治療方法を選択してください（複数選択可）

すべて選択	手術療法	化学療法
放射線治療	免疫療法	セカンドオピニオン

対象のがんの部位を選択してください（複数選択可）

すべて選択	大腸がん	肺がん
胃がん	乳がん	前立腺がん
肝がん	胆のうがん 胆管がん	膵臓がん
頭部/頸部	胸部	消化管
泌尿器	女性	男性
皮膚/骨と軟部組織	血液・リンパ	小児
その他（原因不明がん等）		

医療機関のエリアを選択してください

すべて選択	高知市	中央東エリア
中央西エリア	安芸エリア	高幡エリア
幡多エリア		



医療機関毎の治療実績等

医療機関を選択してください（1施設のみ）

高知大学医学部 附属病院	高知医療センター	高知県立 幡多けんみん病院
高知県立 あき総合病院	独立行政法人 国立病院機構 高知病院	高知赤十字病院

①

②

治療実績等データを選択してください（複数選択可）

すべて選択	年間患者数	手術等の 実施状況
放射線治療の 実施状況	薬物療法の 実施状況	緩和ケアの 実施状況

検索項目

① 医療機関を選択（1施設のみ）

- がん診療連携拠点病院等（4施設）
 - 高知大学医学部附属病院
 - 高知医療センター
 - 高知県立幡多けんみん病院
 - 高知県立あき総合病院

- 高知県がん診療連携推進病院（2施設）
 - 高知赤十字病院
 - 国立病院機構高知病院

② 治療実績等データを選択（複数選択可）

- すべて選択
- 年間患者数
- 手術等の実施状況
- 放射線治療の実施状況
- 薬物療法の実施状況
- 緩和ケアの実施状況

🔍 検索する

検索機能

検索結果画面（イメージ）

- ① 施設間では高齢者の多い施設、少ない施設、他の病気をもつ患者の多い施設、少ない施設があるため、単純に治療実績等を比較して、その施設の治療の善し悪しを論ずることはできませんので、ご注意くださいつつ、数字を見ていただくよう、お願いします。

各施設毎にコメントを掲載

データの読み方に関する注意を掲載する。

A病院 がん治療実績等

- ② A病院の特性（患者の年齢層、重症度等）

手術等の実施状況（令和X年1月1日～12月31日）

悪性腫瘍の手術件数の総数		815件
肺がんの手術件数	開胸手術	31件
	胸腔鏡下手術	22件
胃がんの手術件数	開腹手術	15件
	腹腔鏡下手術	12件
	内視鏡手術 粘膜切除術(EMR)	0件
	内視鏡手術 粘膜下層剥離術(ESD)	1～3件

1件以上10件未満の場合は、1～3件、4～6件、7～9件と公表。

掲載データ

○がん診療連携拠点病院等及び高知県がん診療連携推進病院から毎年報告いただいている「がん診療連携拠点病院等 現況報告書」のデータを検討しており、**1年毎の更新**を考えています。

年間患者数 P. 5

手術等の実施状況 P. 6

放射線治療の実施状況 P. 8

薬物療法の実施状況 P. 10

緩和ケアの実施状況 P. 10

年間患者数（令和6年1月1日～12月31日）

○年間入院患者延べ人数

年間入院がん患者延べ人数

年間入院患者延べ人数に占めるがん患者の割合

○年間外来がん患者延べ人数

① 患者数等（期間：令和6年1月1日～令和6年12月31日）

年間入院患者延べ人数※1		人
年間入院がん患者延べ人数※2		人
年間入院患者延べ人数に占めるがん患者の割合		%
年間外来がん患者延べ人数※3		人
年間院内死亡がん患者数		人

延べ人数とは、1日ごとの入院患者数を合計したものであり、同一人物が複数日入院している場合はその日数分を計上する。

（例：1人が10日間入院した場合は「10」として計上）

※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上すること。

※3 年間外来がん患者延べ人数は、当年の新来、再来がん患者及び往診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成または記載の追加を行ったがん患者の延べ人数を記入する。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成または記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。

（R7年度現況報告書様式4（全般事項））

手術等の実施状況（令和6年1月1日～12月31日）

○悪性腫瘍の手術件数（件）

計上方法：医科診療報酬点数表第2章第10部に掲げる悪性腫瘍手術をいう。（病理診断により悪性腫瘍であることが確認された場合に限る。）なお、内視鏡的切除も含む。

（R7年度現況報告書様式4（機能別））

○がん部位別手術件数(件)

①大腸がん ②肺がん ③胃がん

大腸がんの手術件数

開腹手術

腹腔鏡下手術

うち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの（ロボット支援手術）

内視鏡手術

肺がんの手術件数

開胸手術

胸腔鏡下手術

うち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの（ロボット支援手術）

胃がんの手術件数

開腹手術

腹腔鏡下手術

うち、腹腔鏡下手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの（ロボット支援手術））

内視鏡手術 粘膜切除術（EMR）

内視鏡手術 粘膜下層剥離術（ESD）

（R7年度現況報告書様式4（全般事項））

④乳がん ⑤前立腺がん ⑥肝臓がん ⑦胆のうがん ⑧胆管がん ⑨膵臓がん

④	乳がんの手術件数
	手術
	乳癌冷凍凝固摘出術
	乳腺腫瘍摘出術（生検）
	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術
	乳房再建術（乳房切除後） 二次的に行うもの
⑤	前立腺がんの手術件数
	開腹手術
	腹腔鏡下手術 うち、腹腔鏡下手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの（ロボット支援手術））
⑥	肝臓がんの手術件数
	開腹手術
	腹腔鏡下手術 うち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの（ロボット支援手術）
	マイクロ波凝固法
	ラジオ波焼灼療法
⑦	胆のうがんの手術件数
	開腹手術 腹腔鏡下手術
⑧	胆管がんの手術件数 開腹手術
⑨	膵臓がんの手術件数
	開腹手術 腹腔鏡下手術 うち、内視鏡手術用支援機器（ロボット支援手術）を用いて行った件数

（R7年度現況報告書様式4（全般事項））

放射線治療の実施状況（令和6年1月1日～12月31日）

○放射線治療のべ患者数（人）

計上方法：対象は、医科診療報酬点数表 第2章 第12部「放射線治療」に該当するものとします。
ただし、血液照射は含めません。

（R7年度現況報告書様式4（機能別））

○我が国に多いがんを対象としたのべ患者数（人）

令和6年1月1日～令和6年12月31日の間に放射線治療を開始した患者数 ※原発巣の患者数
肺がん
胃がん
肝がん
大腸がん
胆のう・胆管がん
膵臓がん
乳がん
前立腺がん

（R7年度現況報告書様式4（全般事項））

放射線治療の実施状況（令和6年1月1日～12月31日）

○ 全てのがんを対象としたのべ患者数（人）

（R7年度現況報告書様式4（全般事項））

体外照射（令和6年1月1日～令和6年12月31日の間に放射線治療を開始した患者数）	
	定位照射（脳）
	定位照射（体幹部）
	強度変調放射線治療（IMRT）
	粒子線治療（重粒子線、陽子線治療）
密封小線源治療（令和6年1月1日～令和6年12月31日の間に放射線治療を開始した患者数）	
核医学治療（令和6年1月1日～令和6年12月31日の間に放射線治療を開始した患者数）	
緩和照射	
	脳転移
	骨転移
	それ以外

※「緩和照射」は、高知がん診療連携協議会放射線治療部会にて協議のうえ、追加した項目

薬物療法の実施状況（令和6年1月1日～12月31日）

○がんに係る薬物療法のべ患者数（人）

うち、外来化学療法のべ患者数

計上方法：対象は、経口・静注・皮下注射による全身投与とします。
ただし、内分泌療法を単独で行った場合は含めません。

（R7年度現況報告書様式4（機能別））

緩和ケアの実施状況（令和6年1月1日～12月31日）

○緩和ケアチームの新規介入患者数（人）

計上方法：患者数は、入院・外来を問わず介入を行った場合に計上します。
同一入院期間内で複数回介入しても1人として計上します。
ただし、退院後に外来で介入した場合や、外来後に再入院して介入した場合は、それぞれ新たに計上します。

（R7年度現況報告書様式4（機能別））

緩和ケアの実施状況（令和6年1月1日～12月31日）

○緩和ケアチームに対する新規診療症例の状況（人） ※重複可

- ・身体症状の緩和を行った症例数
- ・精神症状の緩和を行った症例数
- ・社会的苦痛に対する緩和を行った症例数

（R7年度現況報告書様式4（全般事項））

○緩和ケア外来の状況（人）

- ・緩和ケア外来患者の年間新規診療患者数
- ・緩和ケア外来患者の年間受診患者のべ数
- ・地域の医療機関からの年間新規紹介患者数
- ・地域の医療機関からの年間受診患者のべ数

（R7年度現況報告書別紙5（緩和ケア外来の状況））

生存率

○ 国立がん研究センターウェブサイト：がん情報サービス「院内がん登録生存率集計」 県ポータルサイト「高知県のがん統計」のページに、参考サイトとしてリンクを掲載

・「高知県のがん統計」のページ

<https://gansapo.pref.kochi.lg.jp/page/dtl.php?ID=4>

・国立がん研究センターウェブサイト がん情報サービス「院内がん登録生存率集計」

https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/hosp_c_reg_surv/index.html

2. がん診療連携拠点病院等院内がん登録生存率集計報告書

1) 5年生存率集計報告書

5年生存率報告書では、がん診療連携拠点病院等全体での病期、観血的治療の実施別に生存率を推定するだけでなく、都道府県、施設別の生存率集計においても、がんの病期別に生存率を推定しています。しかしながら、がん患者さんの生存率には、院内がん登録情報としてデータ収集しているがんの病期、年齢、性別だけでなく、対象者の併存疾患の有無や身体機能の状態にも大きく影響を受けることが分かっています。特に施設間では高齢者の多い施設、少ない施設、他の病気をもつ患者の多い施設、少ない施設があるため、単純に生存率を比較して、その施設の治療の善し悪しを論ずることはできませんので、ご注意いただきつつ、数字を見ていただくよう、お願いします。このように生存率集計結果の解釈について依然課題がありますが、本報告書公表をご覧いただき、がん診療連携拠点病院等が一丸となり、がん患者さんの治療に責任と誠意をもって取り組んでいることをご理解いただけますと幸いです。

	生存率 報告書 全文	生存率 報告書 本文	集計対象施設 一覧 (付表1)	都道府県別 結果 (付表2)	施設別 結果 (付表3)	修正履歴
	全文					

がん情報サービス「院内がん登録生存率集計」
都道府県別や拠点病院等別の生存率が掲載されている。

今後について

- 承諾いただけた医療機関からポータルサイトに掲載していくことを考えております。
- 今年度内の掲載を予定しております。



<https://gansapo.pref.kochi.lg.jp/>